

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572505709		
法人名	社会福祉法人 中央会		
事業所名	安心サポート矢島		
所在地	秋田県由利本荘市矢島町城内字八森下481-1		
自己評価作成日	平成22年9月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/index_cat249.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31		
訪問調査日	平成22年9月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節の移り変わりを感じていただきながら、その方が今まで歩んでこられた生活を大事にし、その方らしく生活できるように、心がけております。また、風習や行事を大事にし、共に楽しみながら、生活していけるよう心がけております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

住宅街からは少し離れた場所にありますが、ホーム前の道路が地域の方々の散歩コースになっていて、利用者と挨拶を交わす等気軽に声をかけていただけるような雰囲気作りに努めており、利用者が地域の中で安心して過ごせるよう支援が行われています。職員は、理念の中にある「自分らしく」生活できるよう利用者を見守り、生活暦を生かしたケアを実践されています。地域の方から相談を受けることもあり、地域に密着した家庭的なホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「自分らしく生き生きといつまでもお元気で」の理念を共有し、また、今までの生活が継続できるように心がけ、より良いサービスが提供できるよう実践しております。	運営理念を、利用者がこの地域で自分らしく暮らし続けられるようにと職員はとらえて、実践されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	文化祭や祭典等、地域行事等を拝見させて頂き、交流を図っております。また、畑作りや買い物等で気軽に声を掛けてくださり、交流しております。	ホームの前の道路が散歩コースになっていて、気軽に声をかけていただけるような雰囲気作りや努めており、地域との関わりができるよう取り組まれています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	職員が地域の方から相談を受けた際は、必要な所へ連絡するなどし、その方にとって必要な支援が受けられるよう、働きかけております。また、何か地域の方の役に立つ事はないか話し合っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度定期的に行われており、取り組んでいる事を報告し、また、率直な意見を頂きサービス向上に活かしております。	会議には家族代表が必ず出席し、疑問等にはその場で回答して理解していただいています。会議内容は職員にも報告され、サービスの質の向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議にも参加して頂き、利用者の暮らしぶりやニーズを伝え、連携を図っております。また、必要時、協力をして頂いております。	福祉保険課と連携、協力を得て、利用者支援に繋げる取り組みがされています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでおります。家族からの希望も含め、やむを得ず必要時には、家族へ説明し、安全を確保しつつ自由な暮らしを支援する為に、再検討しております。	職員は身体拘束の弊害を理解し、対応されています。玄関は施錠されておらず、夏は開け放しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会を通し、見過ごされる事がないよう、お互いに注意を払っており、声をかけ合っております。また、家族との関係に関しては、担当ケアマネより出来る範囲で、意見を伺い対応しております。		

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加することで得た情報を職員間で話し合い、必要な方がいるか検討しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	わかりやすい表現で説明し、不安・疑問点がある場合に繰り返し説明し、理解して頂けるよう努めております。また、変更時は、その都度説明して理解を頂けるよう努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族や近親者の方へ協力を頂き、ご本人の意向をお聞きできるような働きかけております。また、ご家族及びご本人へのアンケートを実施しております。その結果を運営推進会議や家族へお伝えしており、また、職員間でも話し合い、反映させるよう努めております。	面会時や電話、運営推進会議で意見、要望の引き出しに努めており、家族会開催時にもその機会を作っています。アンケート結果は今後の対応策も併せて報告され、運営に反映させる取り組みがされています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の場だけではなく随時、職員の意見や提案を聞き、反映しております。また、担当者が中心となり、意見交換を行う機会も設けております。	常時話し合いを行い、意見、提案を出し合っ て日々のサービスに活かされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員会議で知識を深めるとともに、やりがいなど向上心を持って働けるように努めております。また、日ごろの努力や具体的な実績(資格等)について、職員処遇への反映をしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、希望や段階に応じた各種の研修へ参加する機会を設けております。また、職員会議の際には、職員研修を行い、技術や知識を身につけるよう努めております。事業所外の研修の際には、復令書及び伝達講習を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の連絡協議会へ参加し、情報交換を行っております。また、研修に参加し、良い所や工夫した方がよい所を話し合うように努めております。		

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用に至る前にご本人やご家族、それまでに関わりのあった方々から話をうかがったり、できるだけ見学をして頂いております。また、不安な事などを話される際は、よく話を聞き、混乱のないように対応しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用に至る前にご家族の思いを出来る限り伺い、見学をして頂く事で具体的な思いをお聞きできるようにしております。また、気軽に連絡し、相談できる事を説明しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする	相談者の気持ちを受け止め、他にあるサービスも含めた説明を行い、何を必要とされているのかを伺うようにしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	色々な場面で共に出来る事はお願いし、話を伺いながら、また、教えを頂きながらできるだけ一緒に行うようにしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、毎月近況報告や写真をお送りして、本人の状態をお知らせしております。また、行事に参加して頂けるよう働きかけ、一緒に楽しんで頂けるようにしております。また、面会の際のコミュニケーションも大事にし、一緒に支援していけるよう働きかけております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人との交流や行きつけの美容院やお店へ行く等、これまでの関係を続けて頂けるよう支援しております。また、地域のお祭りや行事に参加しております。	家族以外に同級生や親戚の訪問もあり、これまでの生活歴や人間関係が継続できるよう支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り、入所者同士が関わり合えるように声掛けを行っております。		

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了し、住み替えが必要となった場合には、本人の状況・習慣・好み・これまでのケアの工夫等の情報を詳しく伝え、環境や暮らし方の継続性等に配慮しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族やご本人に伺いながら、お一人おひとりの生活歴や人格を理解し、安心して生活できるように配慮しております。また、困難な場合は、より希望に近付けるように努めております。	日々接する中で思いや意向の把握に努め、個々のペースに合わせた生活ができるよう支援されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族へはできるだけ情報を頂きたい事をご説明し、協力頂いております。また、ご本人との会話から得たヒントを元に、よりその人を知るきっかけにし、個々の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方を観察し、その方に合わせて、料理の下ごしらえや配膳・下膳・食器洗い・洗濯物たたみ等、得意な事、好きな事を続けられるような環境作りに努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人とは日常的な会話の中で、ご家族とは入所時や面会時・電話などでその都度話し合いを持ち、意見を反映し、職員間では、毎月会議を行い、意見を交換し合い、計画書を作成しております。	毎月のモニタリングやカンファレンスで意見を出し合い、利用者、家族の希望が反映された計画書が作成されています。わかりやすく詳細に記載されたケア記録で情報が共有され、計画の見直しに活かされています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中で、ケアの実践結果・気づきや工夫を個別に記録し、職員間での話し合いでも情報を共有しながら介護計画の見直しに活かすようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人の意向や必要性に応じて、各種機関の協力を得ております。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	昔からのなじみの医師や、ご本人、ご家族より希望のあったかかりつけ医に診て頂いております。また、協力医院の往診が週一回あり、24時間相談できる体制がとれております。併設施設の看護師の協力体制もとれております。	通院介助には職員があたり、利用者、家族の希望に添った支援が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医及び協力医院の看護師に相談できる体制にあり、密に報告し、助言を得ております。また、同様に併設の特養看護師にも協力してもらっております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の関係者と連絡を取り合い、情報を得ております。入院・退院時には、職員も担当医より説明を受けるようにしております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人・ご家族の意向を伺った上で主治医に相談し、必要性に応じて主治医よりご家族に説明をして頂き、共に話し合いながら方針を決め、共有しております。また、事業所の対応能力についても、入所時及び必要時に説明しております。	その時点での必要性により対応することを契約時に説明して利用者、家族の理解が得られており、職員は共通の認識で取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの研修を含めた救命救急講習会に全職員が参加しております。また、施設内研修としても、知識の習得に取り組んでおります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練(3~4回)・駆けつけ訓練を年2回行っております。近隣の町内・企業の方々にも協力頂けるようお願いしております。また、非常食・コンロを常備しております。	全ての訓練を夜間を想定して行っており、併設施設との協力体制もとられています。24時間稼働している近隣の企業の協力も得られています。	

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々、プライバシーには配慮し、対応しております。また、職員同士注意し合っております。	一人ひとりの人格に配慮した言葉かけがされており、トイレにもプライバシーに配慮した工夫がされています。個人ファイルは書庫に保管され、個人情報の取り扱いに配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で何を求めているのか、表情や会話の中で把握できるよう努めております。また、自己決定できるよう支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの時間の流れを大切に、自分のペースに合わせて生活できるよう支援しております。また、身支度の時間に十分な時間が必要な方には、見守りや声掛けを行っており、その方に合わせて適切な対応をしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	長年馴染んだその方らしい服装・髪型を支援し、行事や外出の際には化粧をしたり、行きつけの美容院・床屋へもお連れし、好みの髪型にして頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望を伺ったり、旬の食材を取り入れた献立作りをしております。苦手な物がある方には代替えを準備し、楽しい一時になるよう職員も一緒に食事をしております。また、準備や片付けも一人ひとりの状態に合わせて、手伝って頂いております。	ホームの畑で収穫した野菜が食卓に並び、季節感を味わえる献立作りがされています。個々にトレイは使用せずに食器を置き、食事が楽しい時間になるよう工夫されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士に確認して頂き、バランスのとれた食事になるよう努めております。また、食事が取れない等の場合は、状態に合わせて主治医に相談し、対応して頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態に合わせ、声掛けや見守りを行っております。		

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェックを行い、自分のペースで排泄できるよう支援及び、声掛けをしております。	一人ひとりのパターンに合わせ、さりげない声がけ、見守りによって自立できるよう支援されています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、テレビ体操を行っております。食事に関しては、栄養士と相談をし、繊維質の多い食材を取り入れ、個々には、乳酸菌を利用している方もおります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴をしており、朝に健康状態をチェックして、一人ひとりの希望に合わせて入浴されております。	体調によっては清拭や足浴に変更する等、一人ひとりの希望に合わせた入浴支援が行われています。入浴拒否される場合は、職員の適切な誘導によって入浴されています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調・状況に応じて、休んで頂いております。睡眠状態を把握し、安眠できるよう環境に配慮し、支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	外来時に状態を報告し、一人ひとり処方されている内服薬の一覧表をいつでも見られるようにしており、理解に努め、状態に合わせて、服薬の仕方を工夫しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人・ご家族・ご友人等から情報を得て、その方のできる事を発揮して頂けるよう支援しております。その方にあつた事を分担して、毎日行って頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	希望を伺いながら、外出しております。地域の方のお誘いにより、山菜採り・りんご狩り等にも出かけております。近くの直売所での買い物の際には、お店の方に協力して頂いております。	併設施設の車を使用して外出する際には、手助けしてくれる利用者もいます。家族が連れ出してくれることもよくあり、畑の水やりや買い物の付き添い等できる限り外に出られるよう支援されています。	

安心サポート矢島

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の可能な状態な方にはご家族と相談し、その方に応じた金額を管理して頂いております。買い物に行った際には、ご本人がお小遣いから支払って頂けるように支援し、本人持ちのお金は、担当が本人と一緒に確認しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて、対応しております。ご家族との手紙のやり取りをされたり、自分でかけられない場合は、職員が間に入り、電話を利用できるように支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所・食堂ホールには、一般的な家庭同様な調度品をおいております。また、季節感を感じて頂ける雰囲気作りを行っております。	ホールには手作りの作品が飾られて家庭的な雰囲気が感じられるよう工夫されており、利用者は日中のほとんどの時間をホールで過ごしています。居室の前の廊下は広く、テーブルと椅子が用意されていて、面会時に利用されることもあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	共有ペース・食堂にはテレビがあり、その前にはソファやテーブルが配置され、どなたでもご自由に利用されております。また、廊下にもテーブルと椅子を準備し、自由に使用できるようにしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけご本人が自宅で使用されていた物をお持ち頂くよう働きかけております。また、写真や馴染みの物を飾り、居心地良く過ごせるように努めております。	各居室には洗面台が設置されていて、声かけや見守りによって歯磨きや整容が自分でできるよう支援されています。ベッド以外は使い慣れた物を使用し、一人ひとりの生活スペースが作られています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態に合わせて声掛けをしたり、その方にとって必要な物を使用して頂いております。また、居室・トイレなどわかりやすいように工夫し、お風呂場・廊下やトイレには、手すりが取り付けられています。		